

令和８年度 第１回 川口市介護保険運営協議会第１部会 概要

１ 開催日時

令和８年７月１７日（金） 午前９時３０分から午前１０時５２分まで

２ 開催場所

市役所 第一本庁舎２階 ２０１会議室

３ 部会委員

部会長 陽野 載紀委員

委 員 柳田 つとむ委員、山本 明美委員、根本 光委員、高木 輝久委員、
長谷部 正子委員、熊木 明美委員

４ 会議の概要

（１）国における基本指針について

第１０期介護保険事業計画の策定に当たり、国における基本指針について、資料に基づき事務局より報告した。各委員からの意見はなし。

（２）第９期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画における振り返りについて

第９期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に掲載している成果指標、評価指標及び関係課にて事業評価した結果について、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要は以下のとおり。

- ・「施設の長寿命化の推進」（特養の大規模修繕）については、引き続き目標・実績として残してほしい。
- ・「外国人介護職員受入支援事業」に関連し、研修をはじめ外国人が働きやすい環境づくりなどに関し、補助金等の支援について施策としてつなげてほしい。
さらに関連し、県の事業と併せ、市の独自事業ももっとあったほうがよいのではないか。
- ・外国人の就労について、市の調査を今後手厚くしたほうがよいのではないかと。

（３）第１０期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画における施設整備方針について

第１０期計画における施設整備数について、また、地域密着型サービスの整備等を推進する上で有効な方策、今後の考え方について、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要は以下のとおり。

- ・結局は介護人材不足の課題につながるが、定期巡回、特に夜勤において人材確保が難しい。

定期巡回は、稼働訪問回数が増えるが、ヘルパーの時給が変わらないため、一般の訪問介護と比べると、１件あたりの売り上げ単価が下がってしまうことも理由となっているのかもしれない。

(4) 介護人材の確保、定着、質の向上に向けた支援について

第10期計画を策定するに当たり、介護人材の確保、定着、質の向上に向けた支援について、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要は以下のとおり。

- ・本テーマは介護人材の確保、定着、質の向上に向けた支援であるため、就労に結びつかないと結局は各事業の目的は果たせないことを念頭におきたい。
- ・「介護に関する入門的研修」を実施することで、介護サービス事業所への就職につながったのかは疑問である。研修に参加する方は就労目的ではなく、介護に関し個人的に経験を積みたく参加している方が多い印象である。
- ・入門的研修にて、数日間の中に一日は施設に行き現場経験をしてみると、イメージができるのではないかと。回を重ねるたびに内容を変えていく、つまり進化が重要である。
- ・介護現場で働くことの心理的ハードルを下げる（心の垣根を下げる）ことが重要ではないか。

(5) その他

国に対する介護報酬等における地域区分の見直しに関する要望書提出について及び介護保険事業者安全確保対策支援事業について、資料に基づき事務局より報告した。

各委員からの意見の概要は以下のとおり。

- ・介護報酬等における地域区分の見直しは、声を大にして要望したい。東京都は居住支援特別手当にて、介護・障害の分野で働いている方に、プラス1～2万円の補助金が出ていることもあり、給与面をはじめとした地域間格差を大いに感じている。
- ・介護事業所において、利用者、その家族からのハラスメントが横行しているとの印象である。介護現場でのハラスメント防止に関しては、市民への周知といった対策を図るなど、介護現場で働きやすい体制の整備をお願いしたい。

令和8年度 第1回 川口市介護保険運営協議会第2部会 概要

1 開催日時

令和8年7月10日（金） 午前10時00分から午前11時20分まで

2 開催場所

市役所 第一本庁舎2階 201会議室

3 部会委員

部会長 田口 孝行委員

委員 竹中 健智委員、金子 裕子委員、柳澤 大恵委員、須佐 和行委員、
山中 光代委員、高橋 登美雄委員、内田 洋子委員

4 会議の概要

報告事項

（1）第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の振り返り（概要）について

第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に掲載している成果指標、評価指標及び事業評価の結果について、資料に基づき事務局より報告した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・ケアマネジャーが不足しているとの報道を見かけるが、本市でもケアマネジャーの過不足を把握した方が良いのではないかな。
- ・「関係者間の連携・情報共有の支援」について、医療・介護関係者の研修の年間参加者数に地域包括ケア学会も含めてはどうか。

議題

（1）川口市認知症施策推進計画の策定について

川口市認知症施策推進計画の策定にあたり、課題や提案等について、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・認知症関連のイベント等を実施する際に、独居の方などは、誘ってもなかなか参加していただくことが難しい。一人暮らしの認知症の方に対する情報提供体制や、連携体制を整備してもらいたい。
- ・市内の認知症患者数を把握したほうが良いのではないかな。
- ・認知症の方を把握することは難しいと思われるが、一つの方法として自分のできる認知症のチェックリストを配布する活動を増やしても良いのではないかな。
また、保健所、健康増進課から案内されているがん検診等の項目に、認知症検診の項目を追加し、希望者に受診してもらうのも良いのではないかな。
- ・東京都では希望者に認知症検診を実施しているので、川口市でも実施してみてもどうか。
- ・認知症の診断だけではなく、診断された後の体制も整える必要があると思われる。
- ・認知症を疑い自主的に受診できる方は問題ない。問題なのは、本人に自覚がなく、サポートを受けられないケースである。

(2) 高齢者の移動支援について

高齢者の移動支援施策について、有効な施策や提案等、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・限られた財源の中での効果的な支援と行うことには賛成する。日本人の健康寿命は延びているので、対象者を65歳からではなく75歳以上とし、その分内容を手厚くして貰いたい。
- ・運転免許を自主返納して、彩京のびのびパスを利用している。彩京のびのびパスへの支援については、需要があるのではないか。

(3) 高齢者の入居支援について

高齢者の入居支援施策について、有効な施策や提案等、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・高齢者の住居問題については、重要だと実感している。不動産業者から、一定以上の年齢の方の入居は断っているとの話を聞いた。そうしたことから、現状の保証料の支援制度まで、たどり着かない事例も多いのではないか。

(4) 受益者負担について

紙おむつの支給事業や配食サービス事業の受益者負担について、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・この2つの事業に関して、受益者負担を増額することは、仕方がないと思われる。

(5) 終活支援事業について

終活支援事業について、有効な施策や提案等、委員の意見を聴取すべく、資料に基づき事務局より説明した。

各委員からの意見の概要については、以下のとおり。

- ・エンディングノートは配布されているが、積極的に書かかれておらず、実態としては活用されていないと思われる。死後のペットのこと等、書ける所から記入していくような活用方法の検討が必要ではないか。
- ・終活についてはマイナスのイメージもあるため、著名人による講演会等の周知啓発を行い、終活のプラス面をアピールすれば、身構えることなく終活に取り組めるのではないか。
- ・終活の支援事業については、先進自治体の事例も参考に検討した方が良いのではないか。
- ・身寄りのない高齢者の支援について、死後に光熱費の停止手続き等を代行する民間事業者があると思うが、その様な業者に補助金を出すことも一つの方法ではないか。